

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査



かけがわの子どもたち



掛川市教育委員会

掛川市では、『教育大綱かけがわ』の中で、子どもたちの目指す姿の一つを「豊かな心や健やかな体に高めていくひと」とし、体力・たくましさの育成と健康教育に重点を置いています。

本年度実施した全国体力・運動能力、運動習慣等調査について、掛川市の集計結果をお知らせします。
 全国平均・県平均を100として、指標値により示しました。



実技に関する調査結果



【小学校5年男子】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
全国比較	97	100	96	104	108	100	101	102	100
県比較	99	103	101	104	105	101	101	107	102

【小学校5年女子】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
全国比較	96	94	97	102	106	99	101	105	99
県比較	96	98	100	101	100	99	100	103	99

【中学校2年男子】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	持久走	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
全国比較	103	103	109	106	105	102	102	107	107
県比較	103	103	107	104	104	102	101	105	105

【中学校2年女子】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	持久走	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
全国比較	100	100	105	106	103	102	103	112	106
県比較	99	100	102	104	101	101	101	107	102

※持久走と50m走については、タイムの速い方がよい結果であるため、市平均値を100として計算しました。

調査結果全体から見えてきたこと

- 反復横跳び、シャトルラン、持久走、立ち幅とび、ボール投げにおいて、小5・中2の男女すべてで全国及び県の平均を上回っており、掛川市の子どもたちの敏捷性、全身持久力、跳躍能力、投球能力は全体的に見て高い。
 - 中2の男子は、全国及び県の平均をすべて上回っており、女子においても握力以外は、全国及び県の平均を上回っている。掛川市の子どもたちは、中2の男女において、体力や運動能力が全体的に見て高い。
 - 児童・生徒に対する質問紙調査では、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好き」、「放課後や学校が休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることがある」と答えた児童・生徒の割合が、小5、中2の男女すべてで全国及び県を上回っている。掛川市の子どもたちは、運動やスポーツに関わる意識が高いと考えられる。
 - 「体育（保健体育）の授業が楽しい・やや楽しい」と答えた児童・生徒の割合が、小5、中2の男女すべてで全国及び県を上回っている。掛川市では、子どもたちにとって体育（保健体育）の授業が充実したものになっている。
 - 「朝食を毎日食べる」、「睡眠を8時間以上とっている」と答えた児童・生徒の割合は、小5の女子、中2の男女において全国及び県を上回っている。小5の男子においても全国及び県の平均と大きな差は見られなかった。掛川市の子どもたちは、全体的に見て規則正しい生活習慣ができていると考えられる。
- △「握力」において、小5の男女ともに全国及び県の平均値に届かなかった。
△小5の女子は、「体力合計点」において全国及び県の平均値に届かなかった。また、令和3年度と比べても低かった。

体力の高い子 ポイント6

「実技に関する調査」と「質問紙調査」の相関関係を分析すると、次のような子どもの体力合計点が高い傾向にある。

- ① 「運動が好き。」、「運動をするのは大切である。」と思っている。
- ② 中学校に進んだら（中学校を卒業した後）、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思っている。
- ③ 体育の授業を楽しんでいる。
- ④ 体育の授業で、「できたり、わかったり」する実感をもつために、目標を意識したり、自分に合った練習の方法を選んだり、友達と助け合ったり、教え合ったりしている。
- ⑤ 体育・保健体育の授業を除き、1週間あたりの運動時間が420分以上である。
- ⑥ 体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている。



今後に向けて

幼児教育で進めているアクティブチャイルドプログラムに加えて、遊びを通して育まれた幼児期の育ちについては「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を手掛かりに、幼児教育と学校教育が連携して、家庭を巻き込みながら運動好きの子どもを育てるよう取り組んでいきます。

また、小中学校の体育の授業においては、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現することを目指し、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力の育成に力を注いでいきます。